

2年次後期・必修

1単位・15時間

【概要・目的】

リハビリテーション医学は、障害を克服し、機能を回復し、活動を育む学問大系である。多くの診療科が臓器や器官を専門とするのに対し、リハビリテーション科の治療の対象は障害、機能、活動である。したがって、疾病や障害を持つ方すべてが対象となり、看護師はもとより、リハビリテーション科医、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等が力を合わせたチーム医療が基本となる。リハビリテーション診療・看護では、看護師の幅広い知識と技術が必要となる。

実際には、障害そのものから起こる特殊な病態もあり、疾病だけを診るのではなく、「全身を診る」Whole Bodyの観点から正確な評価に基づき、最良の医学的看護のもとで、可能な限りの高品質なリハビリテーション治療を提供することが求められます。看護師として、リハビリテーション診療・看護を実践するための知識の習得を目的とします。

【到達目標】

- 1) 患者の全身を評価し、リハビリテーション看護診断の方法を理解する。
 - 2) 疾病と障害のある患者の日常生活動作を理解し、最適なりハビリテーション看護を実践する基礎知識を得る。
 - 3) 理学、作業、言語聴覚療法の基本を理解する。
 - 4) リハビリテーション医学の理念を理解する。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 総論（障がい学、安静臥床の弊害と離床の意義）
 - 2) 2次的障害の予防（褥瘡、拘縮、静脈血栓など）
 - 3) 日常生活動作（移動、排泄、FIMなど）
 - 4) 理学療法学（疾患別リハビリテーション治療を含む）
 - 5) 作業療法学（疾患別リハビリテーション治療を含む）
 - 6) 言語療法と摂食嚥下（疾患別リハビリテーション治療を含む）
 - 7) リハビリテーション診療の流れと介護保険
 - 8) 看護とリハビリテーション医学
-

【評価】

筆記試験（60%）、出席状況（30%）、参加態度（10%）等。

【教科書】

総合力がつくりハビリテーション医学・医療テキスト

【推薦参考図書】

リハビリテーション医学・医療コアテキスト

【その他】 <https://wakayama-med-reha.com> の閲覧